



かたくり

学校教育目標

夢ふくらませ 心かがやく



令和5年度
第65号

2024. 2. 29

タブレットの持ち帰りについて

2月22日付けで発出した「タブレットの持ち帰りについて」でもお知らせしていますが、来年度のタブレット持ち帰り本格実施に向けた準備の1回目として、明日、子どもたちはタブレットを持ち帰ります。その後も、8日（金）からと21日（木）からの計3回、持ち帰ることになっています。



その期間、各学年のICT活用状況に応じて、タブレットを使った課題も出される予定です。けれども、今回の持ち帰りの一番の目的は、子どもたちが、持ち帰ることでタブレットの扱い方に慣れることです。ICTのスキルを身に付けるための時間は、授業でもある程度は設定していますが、それだけでICTスキル向上のすべてを担うには時間的に無理があります。

ICTスキルを伸ばすには、よく「まずはタイピング」と言われます。タイピングをやるために端末を起動したり端末に触ったりしていると、徐々にスキルが身に付きます。そのように繰り返すことは、漢字練習をすることと同じです。タイピングなどの基本スキルが身に付いてきたら、今まで家庭学習でやってきたことを、端末でやってみてもいいわけです。そのような取組を繰り返していくと、「もっと早くやりたい」とか「もっと効率よくやりたい」とか、更なるスキルが身に付いていきます。したがって、今回の持ち帰りでは、タブレットを使って課題を終了させることが目的ではなく、課題に向かうことでタブレットを使おうとすることが目的です。

「タブレットが、うまく動作しない。」「Wi-Fi接続が、うまくいかない。」など、いろいろなトラブルやアクシデントもあるかと思いますが。そんなときは、まずは、子どもさんと一緒にいろいろと試してみてください。どうしてもうまくいかないときは、次に学校にタブレットを持ってきたときに、その状況を子どもさんから先生方に話させてください。そうすることで、先生方も、持ち帰りで発生しうるトラブルを把握でき、その対処法等を子どもたちに教えることで、教師も子どもも、ともにICTスキルを高めていくことができると考えます。

明日からのタブレット持ち帰りについて、ご理解とご協力、よろしくお願いいたします。なお、子どもたちの健康を守るために、以下の点にご配慮くださるよう、併せてお願いいたします。

- ①タブレットを使うときは姿勢よく。（目を画面から30cm以上離す。）
- ②30分に1回はタブレットから目を離す。（目を離して、20秒以上、遠くを見る。）
- ③ぐっすり寝るために、寝る1時間前からはデジタル機器を使わない。（ブルーライトによる脳の不必要な活性化を避ける。）

タブレット持ち帰りにおける今後の展望

家庭学習における活用方法

- ・音読での音声認識（自他）
- ・デジタルドリルの活用と音読カードや家庭学習カード等のオンライン化
- ・授業に向けた事前学習（授業で使う動画を事前視聴し感想等をまとめておく。新単元に入る前のレディネステスト。…等）
- ・クラウドを活用することによる個々の進捗確認
- ・学習内容に関するチャットなどでのリアルタイム相談（子ども→教師、子ども同士）

学校と家庭のつながり

- ・学校からの配布物のオンライン配信
- ・学校評価アンケートや個人面談日程の希望調査のオンライン化
- ・欠席連絡をデジタル化
- ・懇談会等における対面とオンラインのハイブリッド化（学年懇談・各種説明会）
- ・個人面談のオンライン化
- ・PTA会報など保護者との共同編集

※これらは、あくまでも現時点で考えられる例であり、これらすべてを実施するというものではありません。

【くりっこたちの活躍を紹介します！！㊸】 おめでとう！！

【サッカー】

- 2023 年度県南U-11 大会兼トヨタジュニアカップ県南地区予選 (令和5年10月22日)
準優勝 FC角館セレジエスタJr. T.K さん
- 2023 年度県南U-10 大会兼読売カップ県南地区予選 (令和5年11月4日)
準優勝 FC角館セレジエスタJr. T.K さん
- 2023 年度大仙仙北フットサルフェスティバルU10 (令和5年12月9日)
準優勝 FC角館セレジエスタJr. T.K さん
- 2023 年度トヨペットカップU10 フットサル大会県南予選 (令和6年1月21日)
準優勝 FC角館セレジエスタJr. T.K さん



学校適正配置準備室からのお知らせ

令和5年12月に、保育園、こども園、小・中学校の保護者の方々にご協力いただいたアンケート「私が考える学校再編案」の結果がまとまりました。右のQRコードよりご覧いただけます。ご協力ありがとうございました。

